

日本薬剤師会学術大会 参加者数等の概要

10月13日13時現在

大会回数		45回	46回	47回	48回	49回	50回	51回	52回	53回	54回	55回	56回	57回	58回	59回
開催年		平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)
大会名		浜松大会	大阪大会	山形大会	鹿児島大会	愛知大会	東京大会	石川大会	山口大会	北海道大会 (ハイブリッド開催)	福岡大会 (完全WEB開催)	宮城大会 (ハイブリッド開催)	和歌山大会 (ハイブリッド開催)	埼玉大会 (ハイブリッド開催)	京都大会 (オンデマンドによるハイブ リット開催)	新潟大会 (オンデマンドによるハイブ リット開催)
登録者数 ()内は学生数		7,437 (171)	15,135 (314)	6,119 (79)	7,294 (96)	9,773 (230)	13,415 (453)	8,471 (203)	9,669 (284)	6,178 (78)	10,514 (82)	7,435 (182)	5,937 (157)	8,086 (227)	8,514 (221)	5852 (138)
内、WEB参加数										4,316(48)	10,514(82)	2,385(42)	1,527(28)	1,141(21)	－	－
会員研究 発表数	口頭	174題	211題	193題	193題	214題	261題	210題	170題	53題	—	109題	128題	138題	226題	115題
	ポスター	350題	416題	334題	404題	462題	576題	461題	418題	WEBポスター 236題	WEBポスター 400題	241題	267題	330題	305題	284題
分科会数		15分科会	19分科会 10学会シンポ	17分科会	16分科会	22分科会	47分科会	24分科会	27分科会	13分科会	22分科会	20分科会	19分科会	20分科会	18分科会	19分科会
分科会方式		テーマ別 (15テーマ)	テーマ別 (29テーマ)	テーマ別 (17テーマ)	テーマ別 (16テーマ)	テーマ別 (22テーマ)	テーマ別 (47テーマ)	テーマ別 (24テーマ)	テーマ別 (27テーマ)	テーマ別 (13テーマ)	テーマ別 (22テーマ)	テーマ別 (20テーマ)	テーマ別 (19テーマ)	テーマ別 (20テーマ)	テーマ別 (18テーマ)	テーマ別 (19テーマ)
シンポジウム		14	21	17	16	21	33	13	17	12	21	19	19	20	18	19
パネルディスカッション		—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
講演(基調)等		12	44	14	7	13	14	12	10	12	18	19	19	20	18	19
特別講演		5	1	2	3	5	7	5	5	3	3	3	4 (うち、1つの 特別講演が中止)	3	4 (うち、2つは府市民 公開講座を兼ねる)	3
その他		3(特別記念講演・県民公開講演会・薬学生のためのサテライトプログラム)	4(大会記念講演・特別記念講演・府民公開講演会・薬学生による公開シンポジウム)	3(特別記念講演・県民公開講演会・薬学生による公開シンポジウム)	3(特別記念講演・県民公開講座、薬学生による公開シンポジウム)	8(特別記念講演、県民公開講座、特別企画(公開アンケート)、PMDAセッション、学会共催シンポジウム1・2、薬学生のためのサテライトプログラム、RPS-JPAシンポジウム)	4(特別記念講演、日医、日歯、日薬会長パネルディスカッション、都民公開講座、特別企画展示)	5(特別記念講演、特別企画、教育セミナー、日本癌治療学会セミナー、県民公開講座)	6(特別記念講演、特別企画、特別プログラム、共催シンポジウム2、ワークショップ2、県民公開講座)	3(特別記念講演、特別企画、オンラインワークショップ)	1(特別記念講演)	3(特別記念講演、薬学生シンポジウム、県民公開講座)	4(特別記念講演、会長講演、薬学生シンポジウム、県民公開講座)	5(特別記念講演、会長講演、県薬企画、薬学生シンポジウム、県民公開講座)	9(特別記念講演、特別企画、会長講演、特別鼎談、ワークショップスポンサーードシンポジウム、スポンサーードセミナー、薬学生ワークショップ)	10(特別記念講演、特別鼎談、県薬企画、若手薬剤師セッション、薬学生シンポジウム、学会共催ハインズオンセミナー・ワークショップ、次世代育成特別企画、特別文化公園・県民公開講座)
展示関係協賛団体		出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数	出展会社数
製薬企業等 広告掲載		36	41	50	58	58	76	66	70	23	23(広告掲載) 38(WEB展示)	47	64	97	105	79
		18	14	30	27	9	14	27	25	6		24	21	31	29	14
日本薬科機器協会		19	23	22	21	23	21	19	19	8	7(ホームページ バナー)	17	17	18	23	19
		30	20	20	20	21	27	21	23	13		20	18	20	20	23
専門図書展示会社等		5	7	6	3	5	10	5	5	2	4(アプリバナー)	2	2	1	2	5
その他		—	—	—	7	8 (ホームページ バナー2含む)	15 (ホームページ バナー1含む)	26 (ホームページ バナー含む)	30 (ホームページ バナー含む)	11(WEB展示、 ホームページバ ナー含む)		24(ホームページ バナー含む)	26(ホームページ バナー含む)	21(ホームページ バナー含む)	5(ホームページバ ナー含む)	13(ホームページ バナー含む)

- ※ 各大会の出席者数は、招待者数を含めると登録者数よりも150～200名多くなる。
- ※ 展示については出展会社数で、出展コマ数ではない。
- ※ 会員研究発表については、第42回 滋賀大会より、投稿規定に基づく査読審査を実施している。第52回 山口大会より、倫理審査を受けているかどうかの確認を行っている。
- ※ 第44回 宮城大会は、東日本大震災の影響で中止。
- ※ 第53回 北海道大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により初のハイブリッド開催となった。
- ※ 第54回 福岡大会は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下での開催となり、ハイブリッド開催から完全WEB開催へと変更。一般演題400題(口頭発表113題、ポスター現地 197題、ポスターWEB 90題)はすべてWEBポスターとしての発表となった。 なお、この400題のほかに、発表方式の変更やその他の理由による演題取り下げが22題あった。